

# HOPE<sup>plus</sup>

【市立芦屋病院だより】



## 新任Drのご紹介

No Photo

いしい りょうへい  
石井 良平

専門分野

精神科

趣味

読書

### 先生から一言！

10月から緩和ケア内科に赴任します。これまで大阪で精神科医として勤務しておりましたが、このたび縁あって以前より興味があった緩和ケアの道に進むこととなりました。当院は緩和ケアに携わるスタッフが大変充実しているとお伺いしております。初心に立ち返って勉強させて頂き、皆様のお役に立てるように精進させていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

## あしやホスピタルフェスタ2017のご案内

参加費  
無料

今年も「あしやホスピタルフェスタ2017」を開催します。

人気の骨塩定量測定や筋肉量を測る健康コーナー、看護服や医師白衣の試着体験、コンサートや健康講座など大人から子供まで楽しめる各種催しを職員が企画しています。皆さんお気軽にお越しください。

日時：11月12日(日) 11時～16時

場所：市立芦屋病院



今年度は整形外科 荒木副院長による健康講座を開催！



大人気のマチネーコンサートやほのぼのコンサートも開催！



調剤機器や腹腔鏡手術機器を使ってお菓子をもらおう！

その他にも  
たくさん楽しい  
企画を準備して  
います！

当日は、芦屋セントマリア病院～芦屋病院間で病院バスを臨時運行しています。

芦屋病院ホームページで最新情報をお届けしています。

<http://www.ashiya-hosp.com>

ホスピタルフェスタに関するお問い合わせは…

市立芦屋病院 総務課 TEL **0797-31-2156** (代表)

同時開催！

休日に健診が  
受けられます！

午前9時より特定健診も実施しています！

平日、仕事などで忙しく、受診できていない方は、この機会に是非ご利用下さい。(受診券の有効期限が終了間近です。)

- ◆時間：9時～13時 ◆生活習慣病の予防・早期発見に着目した健診です。
- ◆お申込み・お問い合わせは、**0797-31-2156**【医事課・健診担当】まで！

事前予約制

## 小児科紹介

# 市内唯一の小児入院医療機関として、地域の小児科医療を支援します。

当科は芦屋市で唯一小児の入院が可能な施設です。

外来受診者数は20～30人/日で通常のクリニックより受診人数は少なめですが、その分日中の救急対応、血液検査や画像検査など精査が必要な患者さんを診察し、十分な説明や治療を行うよう努力しております。

当科の特色として、阪神間でも数少ない学習障害に対応した学習支援外来(予約制)を行っています。特に知能は問題がないのに特定の能力が十分発達していないため読み書き、算数が苦手なお子さんに検査した上でその特性に合うようトレーニングを行っています。

その他慢性頭痛外来、神経外来(てんかんや発達障害)、アレルギー外来(アトピー性皮膚炎、喘息や食物アレルギー、必要に応じ食物負荷試験)、腎外来(尿異常や夜尿症)を開設し午後を中心に外来診療を行っています。また月曜～金曜の午前、及び火曜と木曜の午後は一般診療を行い風邪、気管支炎や胃腸炎等への診察を行っています。様々なお子さんの悩みに対し、市民病院の小児科として方向性を示し、解決策を一緒に考えられるよう心がけています。どうぞお気軽に受診ください。



(写真左より)佐々木研修医、森田部長、磯野主任医長

## 小児科医よりアドバイス!

お子さんの症状で一番相談が多いのは発熱についてです。小児科としては「熱が高い」ことより「生後3ヶ月未満で38度以上の発熱」「顔色が悪い」「発熱期間が4日を超える」「嘔吐が続く」「水分が摂れない」などに注意していただくようお願いしております。

39～40度の発熱があっても機嫌よく、しっかり水分が摂れている場合まず大丈夫ですが、上記にあるような症状の場合、細菌感染症など重い病気の可能性が高くなります。すみやかに小児科に相談いただきたいと思います。また日本小児科学会では御家族のため緊急で受診が必要な場合についてホームページ(kodomo-qq.jp)を開設しております。是非ご利用下さい。

## 認定看護師紹介

当院では、新たに3名の看護師が「認定看護師」の資格を取得しました。今後も看護の質向上のため、認定看護師の育成に向けて取り組んでまいります。



手術看護認定看護師  
濱田 佐和子

手術決定から回復期までの患者や家族の自己決定を尊重し、身体的だけでなく心理、社会的な状態も含め、お一人お一人にとってより質の高い手術看護が提供できるようチームで協働し支援していきたいと思っています。手術に関わることで、心配なことやお困りのことなど相談してください。



がん化学療法看護認定看護師  
吉田 由美子

近年がん化学療法の進歩は目覚ましく、より複雑となり、患者さんが治療を理解し決定することが困難になってきています。しかし、治療を継続するためには患者さん自身が治療内容を理解し、主体的に取り組むことが重要になります。患者さんやご家族が安心して治療を受けることができるよう支援させていただきます。



感染管理認定看護師  
今田 慎也

病院に関わる全ての人が、感染予防に対する認識を持たなければ、感染を拡大してしまう事につながります。「感染から患者を守る。職員を守る」を基本理念として、全ての人が感染防止に対する意識向上が図れるように、感染管理の活動を行っていきたいと考えています。

# 眼科紹介

## 白内障手術や外眼部手術に対応！ 患者さんの安全を考え1泊入院にて実施しています。

眼科は大阪医科大学から4名の非常勤医師が派遣され、外来、手術を担当しています。診療内容は、白内障、緑内障、糖尿病(全身疾患)を主に、様々な疾患を取り扱っています。常に、患者さんと共に目の病気に向き合うことを心がけ、患者さんの話に耳を傾け、相談しながら、安心して治療を受けていただけるよう努力しております。

当院では年間約230例の白内障手術のほか、まぶたの手術(眼瞼下垂、眼瞼内反症など)、翼状片手術などを行っております。また、検査上、専門の医師への受診が必要な際は、他施設へ紹介する事もあります。



(写真中央左より)岡本医師と西田医師  
写真両端は視能訓練士ほか

### ◆白内障について

白内障の多くは加齢の変化で起こるのもですが、視力が低下し生活に支障が出るようであれば手術の対象になります。手術後は片目で自宅へ帰られると転倒のおそれがあるなど危険であり、患者さんの安全面を考慮して1泊2日で行っております。

手術は、濁った水晶体を取り除き、その代わりに眼内レンズを挿入します。

### ◆緑内障について

緑内障は視神経の障害により視野が狭くなる病気です。当院では、早期発見し、定期受診、視野フォローにより早期治療を目指しております。

### ◆糖尿病患者さんについて

糖尿病については、内科と提携することにより、眼底検査、進行例には網膜光凝固術(レーザー治療)を行っております。

気になる症状がある場合は、何なりとご相談ください。



(写真左より)家久来医師と平位医師

## 各種行事のお知らせ

### マチネーコンサート ※毎月1回日曜日に開催

- 日時 ● 10月29日(日)14時30分～
- 場所 ● 外来ホール 黄色いピアノ前
- 内容 ● 歌とフルートとピアノのコンサート
- 出演 ● ドルチェカンタービレ  
(藤朶未央、小山麻衣子、松本智恵子)
- 問合せ ● 総務課



### 秋の公開講座

時間 14時～15時30分 場所 芦屋市民センター401号室 参加費 1回 200円

日程	内容	講師
10月7日(土)	知っておきたい、ホルモンと生理のはなし	産婦人科 宮田 明末 医師
11月4日(土)	禁煙外来によろこ ～何歳から始めても遅くない～	糖尿病・内分泌内科 間瀬 浩史 医師
12月2日(土)	超高齢化時代の心不全を考える	循環器内科 伊阪 大二 医師 慢性心不全看護認定看護師 木村 史絵 看護師

問合せ：芦屋市立公民館 (0797-35-0700)

### 両親学級 ※毎月第2土曜日開催

- 日時 ● 10月14日(土)10時～12時
- 場所 ● 3階東病棟
- 内容 ● お産の経過・赤ちゃんとお風呂
- 対象 ● 妊娠22週以降の妊婦とパートナー5組
- 問合せ ● 産婦人科外来  
(電話は13時～16時)



### 糖尿病教室 問合せ先：栄養管理室 ※毎月第2金曜日開催

時間 13時30分～15時 場所 病棟2階 講堂 参加費 無料

日程	内容	講師
10月13日(金)	運動療法 考えよう！冬に応じた運動！ 食事療法 早めの準備…年末年始の食事の工夫	理学療法士 管理栄養士
11月10日(金)	世界糖尿病デー記念ミニイベント 糖尿病の最新治療	看護師、薬剤師などの医療スタッフ 医師
12月8日(金)	シックデイのケアについて シックデイの食事 糖尿病の検査	看護師 管理栄養士 臨床検査技師

血糖測定器点検会を  
開催します

# 事業管理者

のつぶやき

市立芦屋病院事業管理者 佐治 文隆

## 秋に思う

実りの秋です。稲穂にかぎらず、たわわに実る果実を目にする機会が多いのもこの季節です。日本列島がもっとも爽やかで過ごしやすく、心身ともに快適さを感じやすい時期を迎えました。あちこちで運動会や体育祭が開かれるのも、この気候のもとで「健全な精神と健全な肉体」を養う目的でしょう。ことわざで俗に言う「健全な精神は健全な肉体に宿る」は必ずしも正しくありません。健全な肉体イコール健全な精神の持ち主とは限りませんし、身体を病んでいるからといって必ず精神も病むわけではありません。ここは原典となった「賢い人間が神に願うのは、健全な精神と健全な肉体のみ」(古代ローマの詩人 Juvenalis ユウェナリス)の詩句に返るべきでしょう。

日本の四季を支配しているのは4人の女神といわれ、秋は竜田姫(たつたひめ)です。都を囲む山々のうち、東の山から南の山、西の山、北の山と時計回りに、それぞれ春、夏、秋、冬の神が住むという中国に故事に基づいて、平城京の西には竜田山があり、竜田姫が住んでいました。竜田山は現代では存在しませんが、竜田川の名が奈良の都時代の名残をとどめています。

ちはやぶる神世も聞かず竜田川

からくれなゐに水くくるとは

嵐吹く三室の山のみぢ葉は竜田の川の錦なりけり  
いずれも紅葉をテーマに百人一首で取り上げられています。まさに秋の女神で、染色と織物が得意であった竜田姫が織り上げた錦のような美しい色彩の野山が詠まれています。

「男心と秋の空」は、男性の女性に対する愛情は秋の空のように変わりやすいという意味です。ここでいう「秋」は「飽き」に通じる掛け言葉です。日本語のこのことわざに匹敵する英語のことわざは少なく、強いて言えばシェイクスピアの「空騒ぎ」に出てくる "Men

were deceivers ever." (男はいつも詐欺師であった) でしょうか。ある女子大で「〇〇と秋の空」の空欄を埋める問題で、「男心」より「女心」の方が圧倒的に多かったといえます。確かに「女の心は猫の眼」とも「秋の日と女の心、日に七度変わる」ともいいます。英語でも "Women are as wavering as the wind." (女は風のように心が定まらない)、"A woman is a weathercock." (女は風見鶏)といわれます。いま「女心と秋の空」の方が多数派になったのは、日本女性の欧米化が進んだのかもしれませんが、もっとも明治の文豪島崎藤村は詩集「若菜集」で、男心を「強く吹く風」に例え、女心を「風に吹かれる草」と見立てて、風のような男心も草のような女心も、方角はその日その日で変わると詠っています。あなたは どう思いますか。

さて「柿が赤くなると医者青くなる」といいます。青かった柿の実が赤く色づいてくる頃は気候が良く、医者にかかる人が減るところから生まれたことわざです。類似の言葉に「蜜柑(みかん)が黄色くなると医者青くなる」「柚(ゆず)が色づくとも医者青くなる」「橙(だいだい)が赤くなると医者青くなる」があり、いずれも果実が熟してくる良いシーズンは病人が減って医者の出番がなくて困ることを指します。英語でも "An apple (tomato) a day keeps the doctor away" (1日1個のリンゴ(トマト)は医者を遠ざける)の表現があります。こちらは栄養価の高いリンゴやトマトを食べる人は病気になりにくいことを意味します。病院経営にかかわる身にとっては受診者が減るのは辛いところですが、なんとも市民の健康がまず一番だと想う秋です。

(2017.10.1)



事業管理者のつぶやきについてはホームページにも連載しておりますのでぜひご覧ください。

市立芦屋病院 ご案内

●●●●交通案内●●●●

JR 芦屋駅、  
阪急芦屋川駅から

TAXI タクシー 約7分

バス 約25分  
JR芦屋駅、阪急芦屋川駅のりば2番

徒歩 約30分

※ 病院ネットワークバスもご利用ください 無料

市立芦屋病院の理念

病院理念  
あい(愛)・しあわせ(幸福)・やさしさ(優しさ)

基本理念  
芦屋市の中核病院として 地域社会に貢献します  
患者の意思を尊重し 最善の医療と癒しを提供します

日本医療機能評価機構 認定施設(3rdG:Ver1.0 一般病院2)

市立芦屋病院

〒659-8502 芦屋市朝日ヶ丘町39-1  
TEL:0797-31-2156 FAX:0797-22-8822  
ホームページ <http://www.ashiya-hosp.com>